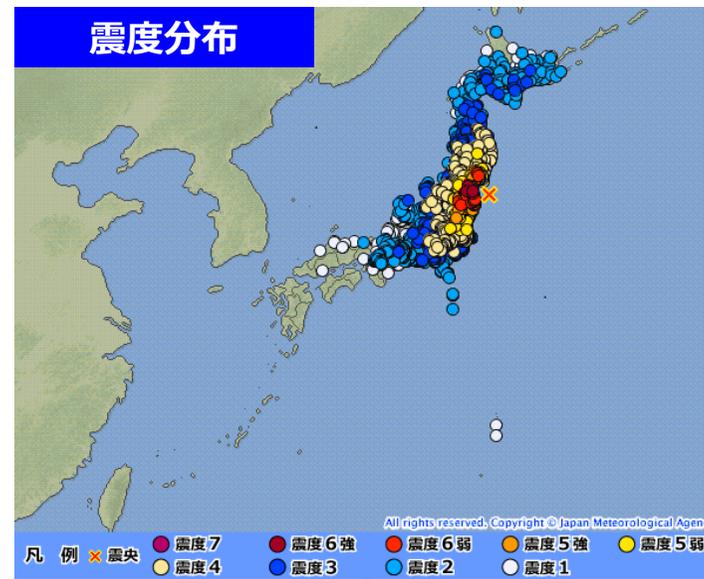


# 福島県沖を震源とする地震の被害状況等について

2021年3月10日  
経済産業省 産業保安グループ  
ガス安全室

# ■ 2021年2月13日（土）23時8分に宮城県、福島県で震度6強の地震が発生

- **地震発生日時（気象庁発表）**  
2021年2月13日（土）23時8分
- **震源・マグニチュード（気象庁発表）**  
福島県沖（北緯37.7度、東経141.8度）  
深さ約60km、M7.1
- **最大震度**  
震度6強



出典：気象庁ウェブサイト

## 主な震度情報

震度6強	宮城県蔵王町、福島県相馬市、国見町、新地町
震度6弱	宮城県石巻市、岩沼市、登米市、宮城川崎町、亶理町、山元町 福島県福島市、郡山市、須賀川市、南相馬市、福島伊達市、本宮市、桑折町、川俣町、天栄村、福島広野町、楡葉町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町
震度5強	宮城県仙台市、塩竈市、白石市、名取市、角田市、栗原市、東松島市、大崎市、大河原町、村田町、柴田町、丸森町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大郷町、大衡村、涌谷町、宮城美里町 福島県いわき市、白河市、二本松市、田村市、大玉村、鏡石町、猪苗代町、泉崎村、中島村、矢吹町、玉川村、浅川町、小野町、富岡町、葛尾村、飯館村 栃木県高根沢町、那須町

# 福島県沖を震源とする地震の被害状況等（1）

- 都市ガスは、面的な供給停止を行うことなく、供給を継続。漏えいが少数確認されたが、適切な緊急対応により、二次災害は発生していない。
- コミュニティガス（旧簡易ガス）については供給停止が2団地で生じたが仮供給により供給は継続。
- 石油資源開発(株)相馬LNG基地において、製造支障が発生し、隣接する福島ガス発電(株)の福島天然ガス発電所向け燃料ガスの供給支障が生じたが、都市ガス用については新潟方面からの送出量調整により供給支障は発生せず、影響はなかった。

- 石油資源開発(株)相馬LNG基地における設備被害・対応状況については、今後、検証を行い、必要に応じて対策を行うこととしたい。

## ●【参考】石油資源開発(株)相馬LNG基地における製造支障

- 地震の影響による基地受電設備の地絡によって商用電源の停電発生、かつ隣接する発電所が緊急停止したため、導管送ガス及び発電所向け送ガスの製造、供給を停止した。（新潟方面からのバックアップ供給により導管ガス需要家への影響は無し。）
- 商用電源停電のため、非常用発電機が起動したが、非常用発電機から商用電源に切り替える際、所内電源設備に再び地絡が生じたため、所内停電復旧に遅滞が生じた。非常用発電機による電力供給再開は約4時間後となった。
- 地震直後の調査で、地震による地盤変状のため、気化器にLNGを送出するポンプと配管との間に傾斜がつくなど基礎間の不等沈下等の影響が確認された。LNGポンプ等主要機器の基礎の不等沈下がないことは後に確認された。
- 商用電源の復電、パイプライン送ガスに関わる設備についての健全性の確認後、試運転として導管送ガス用の、ガス製造・供給を2月15日15時50分に再開し、翌日の2月16日午後に本格操業へ移行した。
- 発電所向けについては、配管の応力解放等の工事が必要と判断されたため、2月17日までに復旧作業を行い、2月18日に発電所においてLNG気化ガスを用いた周辺設備の稼働確認等を実施し、2月19日に製造・供給を再開した。

## 福島県沖を震源とする地震の被害状況等（２）

### ●【参考】都市ガス及び旧簡易ガスの被害状況

#### ○低圧導管・内管の漏えいがあった都市ガス事業者（５社６事業所）

- ・ 東北ガス(株)（白河市）：低圧本支管漏えい１件
- ・ 常磐共同ガス(株)（いわき市）：低圧本支管漏えい１件
- ・ 福島ガス(株)（福島市）：低圧供給管漏えい２件、灯内内管漏えい１件
- ・ 東部瓦斯(株)平事業所（いわき市）：灯外内管漏えい１件
- ・ 東部瓦斯(株)福島支社（郡山市）：低圧本支管・供給管漏えい３件、灯外内管漏えい１件、灯内内管漏えい２件
- ・ 相馬ガス(株)（南相馬市）：灯内内管漏えい３件

#### ○導管の漏えいがあったコミュニティーガス（旧簡易ガス）事業者（１社）

東部液化石油(株)（郡山市）：２団地で供給停止（導管からの漏えいのため）。個別供給（ボンベ）による仮供給実施。